



【ホームページ】<http://www.city.tokushima.tokushima.jp/>
【iモード】<http://www.city.tokushima.tokushima.jp/i/>

2005 1月1日

発行：徳島市(毎月1日・15日発行)
〒770-8571
徳島市幸町2丁目5
☎(088)621-5111(代表)

平成16年12月1日現在

人口	262,843人
男	125,321人
女	137,522人
世帯数	107,369世帯
面積	191.37㎦

●徳島市の広報番組
「マイシティとくしま」(四国放送テレビ) 新年1回目は、1月4日(火)16:20~
「こんにちは徳島市です」(ケーブルテレビ徳島) 毎日4回交替わりで放送



謹賀新年

平成十七年元旦

渭北わくわくクラブの子どもたちと。
渭北地区では、地域ぐるみで子どもたちの健全育成を図ろうと、
各種団体が協力し、体験活動や交流活動の場を設けています。



新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、新しい年を健やかに迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

わが国では今日、低経済成長時代の到来や、急速な少子高齢化の進行によって、長年の間に培われてきた社会経済システムにはころびが見え始め、世代間負担を含めた福祉や社会保障のあり方、雇用をはじめとする今後の経済社会のあり方などに大きな不安を投げかけています。

また、現在、景気低迷の長期化と相まって、国・地方ともに財政状況が深刻さを増しています。

景気はようやく回復の兆しを見せているともいわれていますが、今後、高齢化の進展などによって、財政状況は、さらに厳しさを増すことは必至です。

私たちは、これ以上、後の世代に負担を先送りすることなく、将来を担う子どもたちや孫たちに、いかにしてよりよい社会を引き継いでいくのか、今なすべきことを真剣に考え、実行することが必要です。

私は昨年皆さまのご支持をいただき、市長に就任いたしました。以来、市民の皆さまの生活を守ることに、徳島市が発展することを考えて、精一杯取り組んでまいりました。なかでも、極めて厳しい本市財政状況を踏まえ、持続可能な行財政への転換を図るため、行財政の健全化に向けた取り組みを開始いたしました。今年は、さらに検討を深め、きちとした道筋をお示しできるように、全力をあげて取り組む考えです。

来るべき時代を、明るく希望に満ちた時代とするため、市民の英知を結集し、自分たちのまのちの将来を自分たちで切り開くという姿勢で今後の市政運営に臨んでいきたいと考えています。

市民の皆様、市政に対するご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆さま方にとりましても、この一年が輝かしい年となりますことを心からお祈りいたします。

徳島市長 原 秀樹

2005 新春座談会

誇りあふれる元気みなぎる徳島へ

～まちづくりはひとづくりから～



新春特別企画

新春を迎えた今号では、特別企画として、学校・社会教育、スポーツ経営学、経済界、それぞれの分野からまちづくりに取り組まれている三人の方をお迎えし、原秀樹市長と「将来を担う子どもたちの育成」について話し合っていました。



左から野口治實さん、原秀樹市長、坂田千代子さん、長積仁さん

出席者

- 野口 治實さん (渭北街づくり協議会会長)
- 長積 仁さん (徳島大学総合科学部助教授)
- 坂田千代子さん (タウン誌出版社代表取締役社長)
- 原 秀樹 (徳島市長)

今の子どもたちに感じていること

野口 最近の子どもたちは、センスが良くスマートです。また、異なる文化を取り入れるの柔軟さもあり、自分の意見を率直に述べるのが上手です。

一方で、私が感じるのは、自立心が低下しているのではないかと感じています。少し前の国の調査で、「将来何になりたいかを決めているか」という問いかけを



野口 治實さん

渭北街づくり協議会会長。渭北公民館長。渭北地域ぐるみ青少年健全育成協議会会長。元城東中学校長・県中学校教育研究会会長。学校週5日制の導入を機に、「わくわくクラブ」を結成し、子どもたちの体験学習の場を提供するなど、地域ぐるみで子どもの健全育成に取り組んでいる。

都市化が進むにつれて、地域社会の連帯感が薄れ、隣近所の人たちとのふれあいが減っています。昔は、自分の子どもと他の子どもを分け隔てなく叱り、励まし、温かく見守っていました。連帯感に満ちた地域社会の中で育つことで、人への思いやり、共同体を支える個人の責任といったことを自然に身につけていました。また、子どもには子どもの社会があり、多くの仲間やガキ大将の下でもまじめな人間関係の大切さや社会の中で節度を身につけたものですが、今で

は、放課後に空き地で大きな声を出して遊ぶ子どもたちの姿を見かけなくなりました。家庭も、核家族化や少子化のため、過保護の傾向が見られ、自立心が育ちにくい環境となっているように思われます。そこで、私たちは、地域の子どものために、地域で育てていくこと、3年前から「わくわくクラブ」という取り組みを開始しました。地域の各種団体やボランティアの方が指導にあたり、土曜日の午前中に、主にコミセンで学年を超えた交流活動や生活体験を行っています。多くの地域の方々に協力していただいで、楽しく有意義な交流や体験の場を用意してあり、参加した子どもたちや親御さんにも、たいへん喜んでいただいています。

市長 わくわくクラブの



原 秀樹 市長

割でもあり、我々大人の責務でもありと考えています。私は、徳島を「誇りあふれる元気みなぎるまち」ということを

子どもたちに行っているのですが、高校生で、「将来になりたい職業がある」と答えていたのは、4割ぐらいを7割ぐらい下回ったという結果が出ていました。子どもたちが、将来に夢や目標を持っていないというフリターの数も、ここ10年くらいで2倍以上に増え、おり、懸念すべき傾向であると思っています。

坂田 「いまどきの若者は」という言葉をよく使いますが、基本的には、使っていないと思います。壁を作ってしまう、違うという先入観でしゃべっている気がします。私は、今も昔も、子どもたちは基本的には同じだと思っています。でも、子どもを取り巻く環境が変わっています。私たちが子どものころは、かぐや姫の「神田川」を聞いた、矢沢永吉の「成り

上がり」を読んだりした時代で、お金はないけど、今にきつと成り上がるとやるやりに迷ってやるという風潮があり夢があったと思います。高度経済成長時代には、作れば作るほど売れる、自分でもこんなこともできる、あんなこともできるという、期待感が社会全体に満ちていました。

今の子どものたちは成熟社会で育ち、学校に行くこと、偏差値で判断されてしまう、家に帰るとコンピュータゲームで遊ぶなど、大きな

将来に夢を抱ける環境づくりは

野口 子どもの自立心の低下、将来に夢や目標を持ってないことには、様々な要因があるんだろうと思えますが、地域社会や家庭の教育力の低下に大きな原因があるように思っています。

は、放課後に空き地で大きな声を出して遊ぶ子どもたちの姿を見かけなくなりました。家庭も、核家族化や少子化のため、過保護の傾向が見られ、自立心が育ちにくい環境となっているように思われます。



長積 仁さん

徳島大学総合科学部助教授。スポーツネットワーク理事。同NPOを平成15年に立ち上げ、住民主導の総合型地域スポーツクラブ設立などを支援している。主な著書・論文「総合型地域スポーツクラブの役割」など。

職業体験を通して、早く目標を設定する
坂田 先日、高校1年生を対象に授業をする機会がありました。職業について話してくださいということでしたが、その時に「君の思いは必ず実現する!」というテーマでお話しました。思いというのは目的ですが、高校1年生で目的を持てば、長い人生の中で絶対実現する。目標に向かって日々努力しよう、とこのことだけ話してきました。

市民のかかわり、住民が自分たちの力で健康づくりやまちづくりを取り組んでいくような住民の自主性や自立性(自律性)を養う仕掛けや働きかけをしています。
市長 私、いろんな組織が行う体育大会や運動会が、それぞれは活発にしていますが、その横のつながりは、案外少ないように思います。

行政としてもセクシヨナリズムを廃止するというのはもちろんですが、ハード的な部分にしても、市民の要望に応えるだけの、豪華な施設でなくても、運動できる場がまだまだ、足りないのではないかという強い思いがあります。
また、私が子どものころは、勉強ができる子は勉強で、スポーツが得意な子は運動会でと誰でもヒーローやヒロインになれる場面がありました。今、子どもたちの居場所がないというのは、そうした機会がないまま小・中・高と育っているからではないかと感じます。

中学生も職業体験するようになっていますが、いろんな体験をするということ、要望に応えるだけの、豪華な施設でなくても、運動できる場がまだまだ、足りないのではないかという強い思いがあります。
また、私が子どものころは、勉強ができる子は勉強で、スポーツが得意な子は運動会でと誰でもヒーローやヒロインになれる場面がありました。今、子どもたちの居場所がないというのは、そうした機会がないまま小・中・高と育っているからではないかと感じます。

具体的には、「日本のふるさと・徳島で第二の人生を過ごしませんか」というのはどうでしょうか。退職後は、オーストラリアなどに移住する人が多いですが、それを徳島でというところで海外で第二の人生は落ちていないかと思いますが、徳島には、海や山もあり川もあり釣りもできます。才能のある定年された方を呼んで、その人たちが子どもたちの夢のある教育に関われるようなシステムを作るの、徳島らしさ、まちづくりにしたいです。
市長 皆さんの熱い思いが伝わってきました。また、さまざまな観点からのお話をお聞きいただいたので、ひとつ思うのは、これからは、団塊の世代の方の定年退職が増えていきます。キャリアがあって、才能がある、しかし、もしかしたら社会で存在感がなくなるのではないかと不安も感じている50代後半の方がたくさんいらっしゃると思うのですが、そういう方が子どもとジョイントして、子どもの夢づくりに関わるシステムができれば、と思います。

このように市民の皆さんのアイデアも政策立案にどんどん取り入れていきたいと思っています。先頭に立って精いっぱい頑張ってください。後ともご協力のほどお願いします。
今日は本当にありがとうございました。

パートナーとして行政に望むこと
将来のビジョンを掲げる
野口 私は、子どもたちには大志を抱いて欲しいと思っています。そのためにも、学校、家庭、地域社会がそれぞれの役割を果たすこと、また日本人が元来持っていた勤勉さ、質素、節約、しつけ、礼儀、思いやりなど元来の良い面を今一度見直すことも大切ではないかと考えています。
今、社会全体の倫理観や規範意識が低下しているように見受けられますし、未来に向けた目標を失っているようにも思います。そこで、私が行政に望みたいことのひとつは、子どもたちが、将来に明るい夢が持てるような、ビジョンを高く掲げた施策を実施していただきたいということです。
もうひとつは、子どもたちの健全育成を図る上で、それを支える地域社会の教

育、文化の向上が必要だということ。そのために地域の公民館などを活用した生涯教育、社会教育の充実をぜひお願いしたいと思っています。
市民の意識を変える人間変革機関の役割
長積 やはり行政の得意分野は、政策やシステムをつくることです。すなわち、徳島市としてのビジョンを掲げるとし、いつまで何を、どれだけ達成するのかという方向性や道しるべを描いた政策を立案して欲しいと思います。
一方で、すべてを行政に任せような世の中ではないので、「餅は餅屋」という言葉があるように、様々な能力や可能性をもった社会団体が地域には数多くあるのが、行政はその数多くある組織で持つエネルギーやネットワークをどうまちづくりに結びつけるか、すなわ

な施設でなくても、運動できる場がまだまだ、足りないのではないかという強い思いがあります。
また、私が子どものころは、勉強ができる子は勉強で、スポーツが得意な子は運動会でと誰でもヒーローやヒロインになれる場面がありました。今、子どもたちの居場所がないというのは、そうした機会がないまま小・中・高と育っているからではないかと感じます。

ひとつ思うのは、これからは、団塊の世代の方の定年退職が増えていきます。キャリアがあって、才能がある、しかし、もしかしたら社会で存在感がなくなるのではないかと不安も感じている50代後半の方がたくさんいらっしゃると思うのですが、そういう方が子どもとジョイントして、子どもの夢づくりに関わるシステムができれば、と思います。

このように市民の皆さんのアイデアも政策立案にどんどん取り入れていきたいと思っています。先頭に立って精いっぱい頑張ってください。後ともご協力のほどお願いします。
今日は本当にありがとうございました。

ケーブルテレビ徳島
ここにちは徳島市です
新春特別番組
新春特別番組「誇りあふれる 元氣みなぎる徳島」は、次のおり放送します。
放送日 1月1日(祝)
放送時間 10時～14時・18時20分～22時(各30分間)
放送日時変更のお知らせ
新年1回目の「マイシティとくしま」(四国放送テレビ)は、1月4日(火)16時20分からの放送となります。

民間人の発想からまちづくり
長積 文部科学省が子どもの居場所づくりの新プランという事業を展開していますが、各地域ではユニークな活動が行われています。また文部科学省と日本体育協会が協力し、子どもの体力向上キャンペーンという取り組みも行われています。総合型地域スポーツクラブを育成しているある地域

では、子どもたちの居場所や活動拠点となるようなクラブハウスをつくり、夕方になるとそこへ子どもたちが集まってきて、自然発生的に宿題をしたり、スポーツをしたりして有意義な時間を過ごしています。
こうしただけ取り組みをより効果的に進めていくには、企業、民間人が、どういう形で行政とパートナーシップをとるべきか、また民間人の発想からどのようなまちづくりが進められるかを考えるため、「徳島みらいネットワーク」というNPO組織を立ち上げました。
行政が健康づくりやスポーツ活動といった事業を進める際には、縦割り行政やセクシヨナリズム(縄張り意識)の力が働いてしま、同じような事業であるにもかかわらず、担当部署が各々単独で事業を行い、事業間連携が進まず、効率的な事業運営ができません。
まちづくりは、決して行政だけで進めることはできません。我々は行政と地域住民との橋渡しできればと、NPOの活動を進めています。その際、住民の価値や地域の仕組みを改革することとに主眼を置いて、活動できる限り地域に赴き、住

うことで、私たちの会社にも中・高・大学生がたくさん来てくれます。子どもたちが将来に目標を持てるように、好奇心豊かな学生のときにいろんな職業を教え、体験させてあげるのが、一番いいと思います。
市長 私も、いろんな組織が行う体育大会や運動会が、それぞれは活発にしていますが、その横のつながりは、案外少ないように思います。

行政としてもセクシヨナリズムを廃止するというのはもちろんですが、ハード的な部分にしても、市民の要望に応えるだけの、豪華な施設でなくても、運動できる場がまだまだ、足りないのではないかという強い思いがあります。
また、私が子どものころは、勉強ができる子は勉強で、スポーツが得意な子は運動会でと誰でもヒーローやヒロインになれる場面がありました。今、子どもたちの居場所がないというのは、そうした機会がないまま小・中・高と育っているからではないかと感じます。

中学生も職業体験するようになっていますが、いろんな体験をするということ、要望に応えるだけの、豪華な施設でなくても、運動できる場がまだまだ、足りないのではないかという強い思いがあります。
また、私が子どものころは、勉強ができる子は勉強で、スポーツが得意な子は運動会でと誰でもヒーローやヒロインになれる場面がありました。今、子どもたちの居場所がないというのは、そうした機会がないまま小・中・高と育っているからではないかと感じます。

具体的には、「日本のふるさと・徳島で第二の人生を過ごしませんか」というのはどうでしょうか。退職後は、オーストラリアなどに移住する人が多いですが、それを徳島でというところで海外で第二の人生は落ちていないかと思いますが、徳島には、海や山もあり川もあり釣りもできます。才能のある定年された方を呼んで、その人たちが子どもたちの夢のある教育に関われるようなシステムを作るの、徳島らしさ、まちづくりにしたいです。
市長 皆さんの熱い思いが伝わってきました。また、さまざまな観点からのお話をお聞きいただいたので、ひとつ思うのは、これからは、団塊の世代の方の定年退職が増えていきます。キャリアがあって、才能がある、しかし、もしかしたら社会で存在感がなくなるのではないかと不安も感じている50代後半の方がたくさんいらっしゃると思うのですが、そういう方が子どもとジョイントして、子どもの夢づくりに関わるシステムができれば、と思います。

このように市民の皆さんのアイデアも政策立案にどんどん取り入れていきたいと思っています。先頭に立って精いっぱい頑張ってください。後ともご協力のほどお願いします。
今日は本当にありがとうございました。

ケーブルテレビ徳島
ここにちは徳島市です
新春特別番組
新春特別番組「誇りあふれる 元氣みなぎる徳島」は、次のおり放送します。
放送日 1月1日(祝)
放送時間 10時～14時・18時20分～22時(各30分間)
放送日時変更のお知らせ
新年1回目の「マイシティとくしま」(四国放送テレビ)は、1月4日(火)16時20分からの放送となります。



坂田千代子さん

AWA出版代表取締役社長。AWAおんなあきんど塾メンバー。徳島県全域をターゲットとする雑誌「おんなあきんど塾」を2人の子どもの考えや体験者でもあり、現在の若者の特徴、地域との関わり方について

INFORMATION

募集

65歳からの楽しくウォーキング教室

1月31日(月)13:30~15:30(受け付けは13:00~)。ふれあい健康館(沖浜東2)1階ホールで。対象は、医師から運動制限を受けていない65歳以上の市民。内容は正しい歩き方、ストレッチなどの講話と実技。定員は50人(先着順)。受講は無料。
 申 保健センター ☎656-0531。

第40回市民クロスカントリー大会

2月6日(日)9:00~(受け付けは8:30~)。市陸上競技場周辺で。対象:小学5年生以上の市民。コース:小学5・6年生=1.5km、中学生と壮年(36歳以上)=3km、一般(15歳~35歳)=4km。雨天中止時は2月13日(日)。
 申 所定の申込用紙で1月21日(金)(必着)までに、体育保健課(市役所11階 〒770-8571 ☎621-5427)へ。

シニアパソコン教室

内容・日程などは下表のとおり。ふれあい健康館(沖浜東2)2階視聴覚室で。対象は、市内在住または在勤のおおむね60歳以上の初心者。各コース11人(抽選)。受講料は9,000円(教材費別)。

コース	時間	講習日
はじめてのパソコン A	13:00~15:00	2月8日~3月29日
パソコン B	15:00~17:00	日の毎週火曜日

申 はがきに希望コース・住所・名前・年齢・電話番号を記入し、1月15日(出)(必着)までに、ふれあい健康館(〒770-8053 沖浜東2-16 ☎657-0190)へ。

リフォーム講座 ~着物と帯のリフォーム~

▷A期生=1月27日(木)・2月10日(木)▷B期生=2月28日(月)・3月14日(月)。いずれも13:30~15:30。シビックセンター5階第1活動室で。和服をベストやブラウスにリフォーム。講師:1級技能士・職業訓練指導員・中林恵子さん。定員各15人(抽選)。2日間出席できる人に限る。受講は無料。
 申 はがきに希望のコース・住所・名前・電話番号を記入し、1月7日(金)(当日消印有効)までに、徳島市消費生活センター(〒770-0834 元町1シビックセンター4階 ☎625-2326)へ。当選者のみに通知します。

くらしの講座 ~骨粗しょう症とカルシウム~

1月21日(金)13:30~15:30。シビックセンター5階第1活動室で。テーマ:骨粗しょう症とカルシウム。講師:徳島文理大学

教授・川田玲子さん。先着40人。受講は無料。
 申 徳島市消費生活センター ☎625-2326。

応急手当の実技講習会

1月16日(日)13:00~16:00。東消防署(新蔵町1)で。人工呼吸法や心臓マッサージ、止血法など。受講は無料。
 申 東消防署 ☎656-1195、西消防署 ☎631-0119。

催し

消防出初め式

1月9日(日)9:30~12:00。アスティとくしま(山城町)で。市民参加の防火衣裳競争をはじめ、古式はしご操法、消防自動車の観閲行進、祝賀放水など。入場は無料。
 申 消防局総務課 ☎656-1191。

市立図書館

◁1月のおはなし室プログラム>
 ×8日(日)人形劇×15日(土)お話しと遊び×22日(土)おふとだっこのおふれあい遊び。10:30~11:00。参加は無料。
 申 市立図書館 ☎654-4421 毎週火曜日と1月1日(祝)~3日(月)、10日(祝)、31日(月)は休館)

ニュースポーツのつどい

1月8日(土)9:00~12:00。内町小学校体育館で。種目はカラーリング。参加は無料。参加希望者は体育館シューズを持参し、直接会場へ。
 申 体育保健課 ☎621-5427。

ふれあい健康館(新春あそび始め)

1月9日(日)13:30~15:30。ふれあい健康館(沖浜東2)1階きかけ空間で。内容は、子ども太鼓、マジックショー、中国式お手玉の体験など。参加は無料。
 申 ふれあい健康館ボランティア係 ☎657-0190。

お知らせ

農業委員会委員 選挙人名簿登録受け付け

1月10日(祝)まで。市農業委員会(市役所本館3階)で。資格要件:満20歳以上(昭和60年4月1日以前生まれ)で、1月1日現在徳島市に住所を有し、次のいずれかに該当する人。▷10㎡以上の農地で農業経営をしている▷農業経営をしている人の同居親族、またはその配偶者で年間おおむね60日以上耕作している▷農業生産法人の組合員または社員。
 申 市農業委員会事務局 ☎621-5394、市選挙管理委員会事務局 ☎621-5373。

市職員採用試験を実施

【実施日】1月30日(日)
 【会場】徳島中学校(中前川町3丁目)
 【申し込み】所定の申込用紙で1月14日(金)までに各担当課へ。郵送(14日消印有効)の場合は書留としてください。
 【申込用紙】市役所1階案内と7階人事課(バス整備士)は交通局総務課)にあります。郵便で請求する場合は、封筒の表に「技能請求」等と朱書き、返信用封筒(120円切手を貼った角形2号)を同封してください。
技能員
 【受験資格】昭和50年4月2日以降に生まれた人(ただし、4年制大学に2年を超えて在籍した人は受験できません)
 【採用予定】▷塵芥収集業務=2人程度

▷現場施設等維持業務=3人程度▷介護業務=1人程度
 【試験内容】▷第1次=筆記試験・適性検査・体力検査▷第2次=面接・小論文
 【担当課】人事課(〒770-8571 幸町2 ☎621-5023)

交通局大型バス整備士

【受験資格】昭和44年4月2日~58年4月1日生まれで、3級ディーゼル自動車整備士または2級自動車整備士免許(2輪を除く)を持つ人
 【採用予定】1人程度
 【身体基準】①視力(矯正視力を含む)が両眼で0.8以上、一眼でそれぞれ0.5以上
 ②色覚及び聴力に強度の異常がないこと
 【試験内容】▷第1次=筆記試験・適性検査▷第2次=面接・小論文・実技試験
 【担当課】交通局総務課(〒770-0941 万代町7 ☎623-2151)

阿波おどり会館・2005新春ライブ 人形浄瑠璃公演

【日時】1月2日(日)・3日(月)
 13:00~15:00
 【場所】会館2階阿波おどりホール
 【定員】250人
 【入場料】無料
 2日(日) 13:00~子ども浄瑠璃「寿式三番叟」
 15:00~子ども浄瑠璃「傾城阿波の鳴門」
 出演:川内北小学校人形浄瑠璃クラブ
 3日(月) 13:00~15:00
 (1)人形浄瑠璃「日高川入相花王」(2)ワークショップ「IWATO三番叟」
 出演:阿波人形浄瑠璃研究会青年座
 申 阿波おどり会館 ☎611-1611

徳島城博物館に「初詣」

◆七草粥
 1月4日(火)11:30~13:00。伝統の七草粥をご賞味ください。先着100人。
 ◆初春獅子舞&太鼓囃子
 1月4日(火)13:00~14:00。華麗な獅子舞と邦楽演奏の競演です。
 ◆子ども百人一首「かるた大会」
 1月9日(日)13:00~16:00。「かるた教室」を受講した小学生が技を競います。
 ◆企画展「書之美を愛する」
 1月23日(日)まで。徳島藩主蜂須賀家が収集した書や大名松蔭の作品約50点を展示。
 【入館料】大人300円、高校・大学生200円、中学生以下無料。
 申 徳島城博物館 ☎656-2525

《台風23号で被害を受けた方へ》

住宅再建支援のための再調査を実施しています
 台風23号により床上浸水した住宅(店舗を除く)を対象に、被害の程度についての再調査を実施しています。再調査の結果、住家が半壊以上と認定されれば、住宅再建のための補修費等の一部助成が受けられます。
 再調査を希望される方は、1月31日(日)までにご連絡ください。
 なお、認定を受けられた方の補助金申請は、3月31日(木)までとなっています。
 申 徳島市住宅再建支援窓口(市役所9階901会議室 ☎622-1146・1148・1154)

燃やせるごみ・資源ごみの収集

1月10日(月)の該当地区は、ごみを収集します。
 申 生活環境課 ☎621-5217

工業統計調査にご協力を

12月31日を基準日とし、製造業を対象とした工業統計調査を全国一斉に実施。県知事の任命を受けた調査員が事業所を訪問しますので、ご協力をお願いします。
 申 情報推進課統計担当 ☎621-5470

はたちの献血キャンペーン 1月1日~2月28日

冬は輸血用の血液が不足がちです。新成人を始め、みなさんのご協力をお願いします。
 【献血の実施場所】
 ▶アミコ献血ルーム(シビックセンター3階 ☎652-2550)。火曜を除く毎日(1月3日(月)から)10:00~13:00、14:00~17:30。
 ▶県赤十字血液センター(住町3 ☎631-3200)日曜・祝日を除く毎日(1月2日(日)から。1月3日(月)は休み)9:00~12:00、13:00~16:30
 申 保健センター ☎656-0529

親子ふれあいプラザ

【1月の行事】☎657-0065
 いずれも参加無料。※印は要申し込み。
 ◆子育てセミナー「バンスボールで身心もリフレッシュ」※
 日時 1月25日(火)10:30~11:10
 場所 ふれあい健康館1階ホール
 講師 インストラクター・奥田欣作さん
 定員 15人 託児あり(1歳以上・20人)
 ◆親子教室
 対象:就学前の子どもとその保護者

日	時	内	容
毎日	10:30~11:00 14:30~15:00	絵本の読み聞かせ	
13日(水)	10:30~11:30	身体を動かして遊ぼう※	
15日(金)	10:30~15:00	子育てカウンセリング※	カウンセラー 和田 厚子さん
20日(水)	10:30~11:30	お誕生パーティー※	(1月生まれ)
28日(金)	10:30~11:30	鬼の面をつくろう※	

 開館時間は9:00~18:00(日・祝は16:00まで)月曜日は休館

1月の無料相談

女性センター
 シビックセンター4階 ☎624-2613
《女と男の生き方相談》
【対象】 市内在住・在勤・在学の人

一般相談 ・電話 ・面談(要予約) ☎624-2613	◆女性センター開所日 10:00~17:00 《休》日曜、火曜、祝日 年末年始
カウンセリング相談 ・電話(要予約) ・面談(要予約) (託児あり・要申し込み) ☎624-2611	◆昼間(13:00~16:00) 毎週 水曜・金曜 ◆夜間(18:00~20:00) 5日(水)・7日(金) 19日(水)・21日(金) ◆12日(水) 18:00~20:00

なんでも相談市民センター

市役所1階 ☎621-5200・5129
《専門家による相談》【対象】 市内在住の人

弁護士 ※	12・19・26日(水)	13:00~16:00
行政相談委員	17日(月)	13:00~15:00
人権擁護委員	4・18日(火)	13:30~16:00
土地家屋調査士	6・20日(木)	10:00~12:00
司法書士	毎週月・金曜	10:00~12:00
行政書士	毎週火曜	10:00~12:00
住まいづくり	27日(水)	10:00~13:00
心配ごと(相続・離婚など)	毎週月~金曜	9:00~15:30
交通事故	毎週月~金曜	9:00~15:30

 ※は予約制で、5日(水)8:30から電話でのみ予約受付。先着27人(各日9人)で1人20分以内。
 *行政相談委員相談は、ふれあい健康館1階相談室でも実施。【とぎ】19日(水)13:00~15:00
 *司法書士相談は、シビックセンター5階第2活動室でも実施。【とぎ】9日(日)・23日(日)10:00~12:00

保健センター

沖浜東2 ふれあい健康館内
《医師・保健師による健康相談》 ☎656-0515
【対象】 市内在住の40歳以上の人 【要予約】

一般健康相談	11日・25日(水)	13:00~15:00
老年病ほう予防相談	12日(水)	13:30~15:30
家族などの介護を行う人の健康相談	11日・25日(水)	13:00~15:00
歯科医師相談	20日(水)	13:30~15:30
生活習慣改善相談※	26日(水)	13:00~17:00

 ※は保健師、他は医師が相談に応じます。
《ウォーキング相談》 ☎656-0531
【対象】 市内在住で医師から運動制限の指示を受けていない40歳以上の人 【要予約】
 4日(火)・18日(水)
 13:00~13:30、13:40~14:10、14:20~14:50